

G S Cネットワーク

初のアジア会議を開催

来年3月で 域内の連携強化図る
東京

グリーン・サステイナブルケミストリー(GSC)ネットワーク(内)

ケ崎功会長)は来年三月七日からの三日間、第一回アジア・オセアニアGSC会議を東京で開催する。GSCネットワークは、同地域を欧米に次ぐ世界の第三極に位置付け、日本が中心的な役割を果たしながらGSC活動を推進することを課題としている。最新技術情報の共有や人的交流の促進などを通じて連携の強化を図る。

化学技術の革新によって、人と環境の健康・安全を目指すGSC活動は世界的に広がっている。二〇〇三年三月には世界のGSC推進母体の協賛を得て、第一回GSC国際会議が日本主導で開催され、GSCの重要性や日本における産学官一体の取り組みを国際社会に向けて発信。昨年六月には米ワシントンで第二回会議が開かれた。

GSCネットワーク

は、アジア・オセアニア地域に対してネットワーク構築を呼び掛けており、現在までに中国科学技術大学、マレーシアのアジア医学・科学技術大学、台湾工業技術院、オーストラリアのモナッシュ大学、韓国インハ大学の教授らが参画を表明。

来年三月のアジア・オセアニア会議は、GSCの年次シンポジウムとの同時開催となる。各国メンバー代表によるプレゼンテーションに加え、米国化学会傘下のGCI(グリーンケミストリーインスティテュート)、IUPAC(国際純正および応用化学連合)、蘭アルフト工科大学の教授らによる基調講演を予定。シンポジウムではGSCの実践例や将来の展望に関する口頭発表やポスターセッション、展示が行われる。